

(様式3)

平成27年 1月14日

内閣総理大臣 殿

本宮市長 高松 義行

定住緊急支援事業計画の変更について

平成25年5月27日、9月11日、11月14日、平成26年2月7日、4月25日及び8月20日付けで提出した本宮市定住緊急支援事業計画について、福島定住等緊急支援交付金制度要綱第5の5の規定に基づき、別添のとおり変更するので提出します。

(別 紙)

計画の目標

本宮市では、「共に支えあうやさしいまちづくり」を基本目標に掲げた第1次総合計画に基づき、子ども、高齢者、障がい者等、市民誰もが生涯にわたって心身ともに健康で、豊かな生活を送れる環境づくりに取り組んできた。

しかし、東日本大震災及び福島原子力発電所事故により、市民の活動が物理的・精神的に制限され、特に、子どもたちの屋外での遊びにおいては、放射能に対する不安が完全に解消されておらず、放射能による健康への影響の不安から、屋外での遊びは敬遠される状況が続いている。

震災等からの復興と「共に支えあうやさしいまちづくり」の一層の推進を図るべく、除染の実施と併せて、子育て世帯が安心して外遊び及びスポーツをする機会の増加を図り、子どもたちの体力を向上させることを目標とする。

計画の区域

(1) 事業実施箇所

【第1回事業計画の事業実施箇所】

- | | | |
|---|--------------------|--------------|
| 1 | スマイルキッズパーク | 本宮市糠沢字石神50番地 |
| 2 | しらさわグリーンパーク「記念樹の杜」 | 本宮市糠沢字石神地内 |

【第2回事業計画の事業実施箇所】

- | | | |
|---|------------|---------------|
| 1 | 荒井地区公民館 | 本宮市荒井字茶園5番地 |
| 2 | 仁井田地区公民館 | 本宮市仁井田字寺下15番地 |
| 3 | 岩根地区公民館 | 本宮市岩根字上土淵6番地 |
| 4 | 白沢公民館和田分館 | 本宮市和田字久保171番地 |
| 5 | 白沢公民館糠沢分館 | 本宮市糠沢字原241番地 |
| 6 | 白沢公民館長屋分館 | 本宮市長屋字小山34番地 |
| 7 | 白沢公民館稲沢分館 | 本宮市稲沢字見切田53番地 |
| 8 | 白沢公民館松沢分館 | 本宮市松沢字池平36番地 |
| 9 | 地域開放児童用プール | 本宮市本宮字舞台地内 |

【第3回事業計画の事業実施箇所】

- | | | |
|---|--------|------------|
| 1 | みずいろ公園 | 本宮市本宮字馬場地内 |
|---|--------|------------|

【第4回事業計画の事業実施箇所】

- | | | |
|---|-----------------|-------------|
| 1 | 岩根幼稚園・岩根小学校（併設） | 本宮市岩根字下年神地内 |
| 2 | 五百川小学校 | 本宮市荒井字西畑地内 |
| 3 | フォーシーズンしらさわ秋公園 | 本宮市糠沢字光が丘地内 |

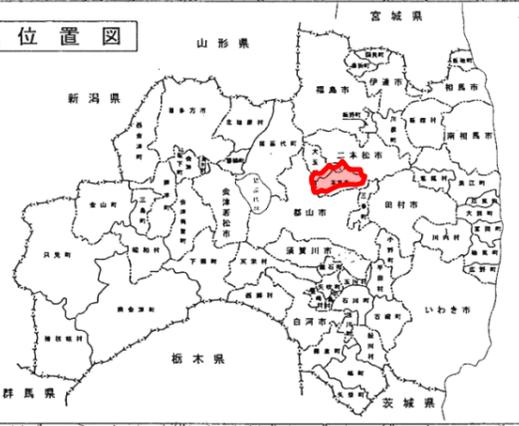
【第5回事業計画の事業実施箇所】

- | | | |
|---|-----------------|-------------|
| 1 | 和田幼稚園 | 本宮市和田字学校前地内 |
| 2 | 和田小学校 | 本宮市和田字学校前地内 |
| 3 | 糠沢幼稚園・糠沢小学校（併設） | 本宮市糠沢字原地内 |

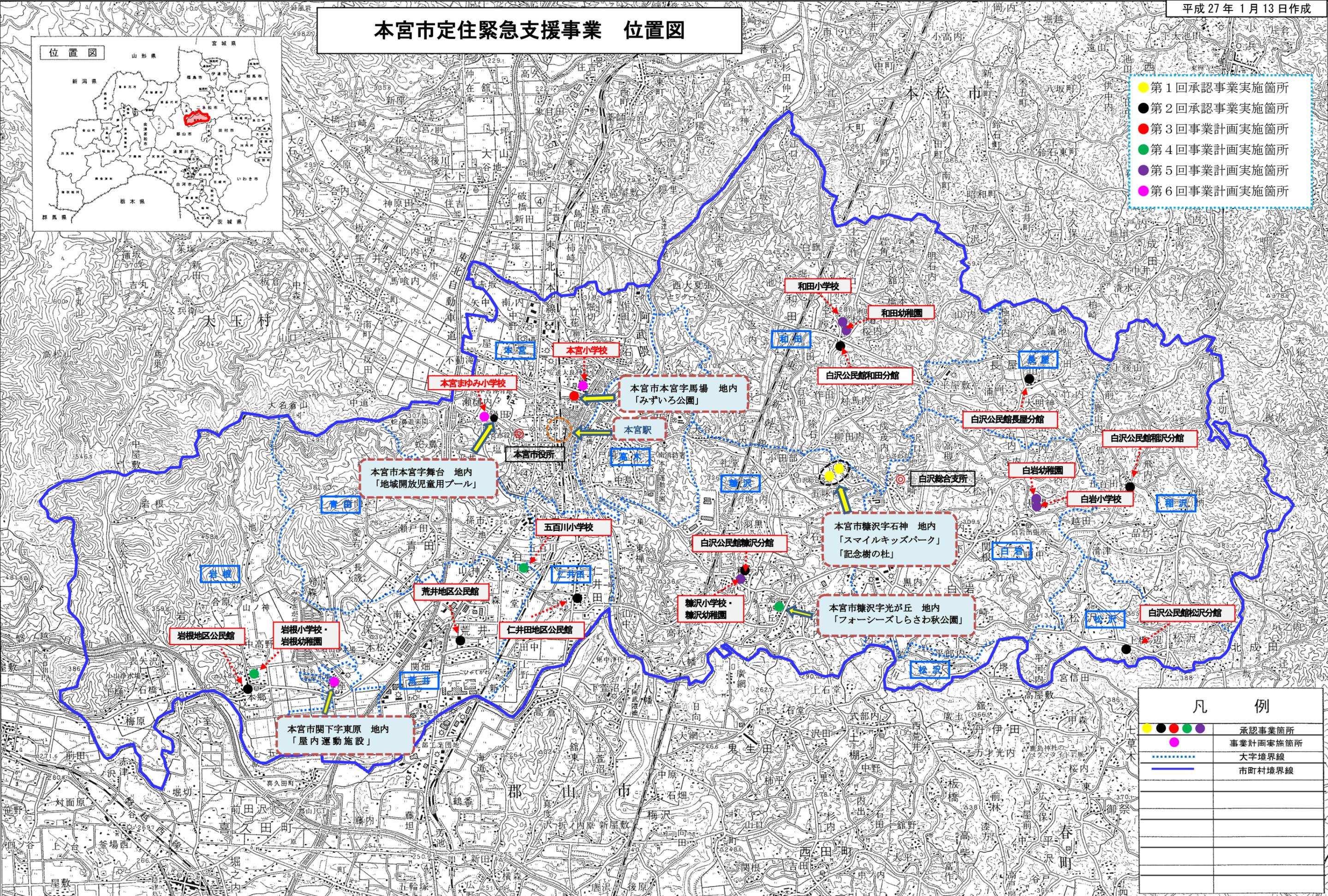
4	白岩幼稚園	本宮市白岩字馬場地内
5	白岩小学校	本宮市白岩字馬場地内
【第6回事業計画の事業実施箇所】		
1	本宮小学校	本宮市本宮字舘ノ越地内
2	本宮まゆみ小学校	本宮市本宮字舞台地内
3	屋内運動施設	本宮市関下字東原地内
【第7回事業計画の事業実施箇所】		
1	地域開放児童用プール (本宮市子ども屋外プール)	本宮市本宮字舞台地内 (本宮まゆみ小学校敷地内)
※効果促進事業(水泳教室等)		
(2) 事業の効果が見込まれる区域：本宮市全域		
計画への位置づけ		
<p>「本宮市第1次総合計画」において、「豊かな人間性」「確かな学力」「健康と体力」の要素からなる子どもの生きる力を育む教育の推進を掲げており、本宮市教育振興基本計画では、子どもの安全・安心を確保し、地域におけるより良い教育環境の整備を進めることとしている。原子力発電所事故によって、放射線に対する不安がある中で運動を強いられている子どもたちに、本来の運動の場を提供する今回の計画は整合している。また、障がい児・障がい者についても地域社会参加の支援や生活支援体制の充実を図ることとしている。</p> <p>さらに、「本宮市震災・原子力災害復興計画(第3版)」において、「多様な世代が安全・安心を実感する暮らしの再生」を目標に掲げ、その施策のひとつである「健康対策」の取組みとして、子どもの運動機会の確保を図ることとしている。</p>		
<p>「本宮市震災・原子力災害復興計画(第3版)」P7～P9 ※一部抜粋</p> <p>施策1-2 健康対策</p> <p>【現状と課題】</p> <p>○東日本大震災による原発事故の長期化に伴い、放射線の健康への影響について市民の関心と不安が高まっており、その対応が必要となっています。特に妊婦や子どもを持つ親の不安解消を図る必要があります。</p> <p>○住環境、教育環境の変化や家族・友人関係の変化、さらには家族がばらばらに避難生活を強いられているケースもあり、子どものみならず大人も多くのストレスを受けているため、きめ細やかな心のケアが必要となっています。</p> <p>□具体的な取り組み</p> <p>(3) 市民の心身ケア(ストレス対策)の推進</p> <p>・屋外遊びを控えている子どもたちの心身ケア対策として、子どもの運動機会を確保するため、屋内遊び場や除染を徹底した屋外遊び場の整備・改修、さらに他市町村との交流行事を進めるなど、子育て世帯が安心して活動できる環境の充実を図ります。</p>		

本宮市定住緊急支援事業 位置図

位置図



- 第1回承認事業実施箇所
- 第2回承認事業実施箇所
- 第3回事業計画実施箇所
- 第4回事業計画実施箇所
- 第5回事業計画実施箇所
- 第6回事業計画実施箇所



凡 例	
● (Yellow)	承認事業箇所
● (Black)	承認事業箇所
● (Red)	承認事業箇所
● (Green)	承認事業箇所
● (Purple)	承認事業箇所
● (Pink)	事業計画実施箇所
---	大字境界線
---	市町村境界線

(様式1-2)

本宮市 定住緊急支援事業計画に基づく事業等

平成27年4月時点

(単位:千円)

No.	事業番号 (注1)	事業名 (注2)	地区名 施設名	交付 団体	事業 実施 主体	各年度の交付対象事業費(注3)			小計	全体事業費 (注4)	主体事業 期間 (注5)	備考 その他(注6)
						平成25年度	平成26年度	平成27年度				
1	B - 1 - 1	スマイルキッズパーク(屋内運動施設)増築事業	本宮市糠沢字石神地区 スマイルキッズパーク	市	本宮市	(39,620) <39,620>			(39,620) <39,620>	39,620	25 ~ 25	
2	C - 1 - 1	スマイルキッズパーク「記念樹の杜」 屋外運動施設整備事業	本宮市糠沢字石神地区 しらさわグリーンパーク 「記念樹の杜」	市	本宮市	(316,362) <316,362>			(316,362) <316,362>	316,362	25 ~ 26	
3	◆ C - 1 - 1 - 1	スマイルキッズパーク「記念樹の杜」 屋外運動施設プレイリーダー育成事業	本宮市糠沢字石神地区 しらさわグリーンパーク 「記念樹の杜」	市	本宮市	(5,614) <5,614>			(5,614) <5,614>	5,614	25 ~ 26	
4	A - 1 - 1	地区公民館・分館遊具更新事業	市全域 地区公民館・分館 (荒井地区公民館外7カ所)	市	本宮市	(38,664) <38,664>			(38,664) <38,664>	38,664	25 ~ 25	
5	B - 1 - 2	本宮市子ども屋外プール整備事業	本宮まゆみ小学区 (本宮市子ども屋外プール)	市	本宮市	(335,815) <335,815>			(335,815) <335,815>	335,815	25 ~ 26	
6	A - 1 - 2	みずいろ公園遊具更新事業	本宮市本宮字馬場地区 みずいろ公園	市	本宮市	(121,032) <121,032>			(121,032) <121,032>	121,032	25 ~ 26	
7	A - 1 - 3	文教施設等遊具更新事業	本宮市荒井字西畑地区 外 五百川小学校 外	市	本宮市		(40,053) <40,053>		(40,053) <40,053>	40,053	25 ~ 26	
8	A - 1 - 4	フォーシーズンしらさわ秋公園遊具更新事業	本宮市糠沢字光が丘地区 フォーシーズンしらさわ秋公園	市	本宮市		(14,364) <14,364>		(14,364) <14,364>	14,364	26 ~ 26	
9	A - 1 - 5	文教施設等遊具更新事業	本宮市和田字学校前地区 外 和田幼稚園 外	市	本宮市		(57,856) <57,856>		(57,856) <57,856>	57,856	26 ~ 26	
10	A - 1 - 6	文教施設等遊具更新事業	本宮市本宮字館ノ越 外 本宮小学校 外	市	本宮市		24,762 <24,762>		24,762 <24,762>	24,762	26 ~ 26	
11	B - 1 - 3	本宮市屋内運動施設整備事業	本宮市関下字東原地区 (本宮市屋内運動施設)	市	本宮市		35,011 <35,011>		35,011 <35,011>	545,778	26 ~ 27	
12	◆ B - 1 - 3 - 1	本宮市屋内運動施設整備事業 (外構工事)	本宮市関下字東原地区 (本宮市屋内運動施設)	市	本宮市		3,880 <3,880>		3,880 <3,880>	134,017	26 ~ 27	
13	◆ B - 1 - 2 - 1	本宮市子ども屋外プール効果促進事業	本宮まゆみ小学区 (本宮市子ども屋外プール)	市	本宮市			800 <800>	800 <800>	800	27 ~ 27	
合 計						(857,107) 0	(112,273) 63,653	(0) 800	(969,380) 64,453			
						<857,107>	<175,926>	<800>	<1,033,833>			
						(851,493) 0	(112,273) 59,773	(0) 0	(963,766) 59,773			
うち基幹事業						<851,493>	<172,046>	<0>	<1,023,539>			
						(5,614) 0	(0) 3,880	(0) 800	(5,614) 4,680			
うち効果促進事業						<5,614>	<3,880>	<800>	(10,294)			

県名	福島県	担当部局名	政策推進課	担当者氏名	新保 雅樹
市町村名	本宮市	電話番号	0243-24-5321(直通)	メールアドレス	seisaku@city.motomiya.lg.jp

(注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(制度要綱別表の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」、効果促進事業については、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号)-(最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。

(注2)「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。

(注3)「各年度の交付対象事業費」は、上段()書きは前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。総交付対象事業費については、各年度の交付決定額及び今回申請額の和を記載する。

(注4)「全体事業費」は、「全体事業期間」を通じての全ての事業費を記載する。(ただし用地費など交付対象外費用は含めない)

(注5)「全体事業期間」は、平成26年度以降に実施することが見込まれる事業については、平成26年度以降も含めて記載する。

(注6)事業間流用を行った場合には、「備考」の「その他」に事業間流用を行った旨、その時期及び額を記載する。なお事業間流用を行う場合には、流用する(流用される)事業名も合わせて記載する。

(注7)担当者氏名等は県及び市町村の担当者を並べて記載する。

(様式 1-3)

本宮市定住緊急支援事業計画に基づく事業等個票

平成 27 年 4 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	13	事業名	本宮市子ども屋外プール効果促進事業	事業番号	◆B-1-2-1
交付団体	本宮市		事業実施主体	本宮市	
総交付対象事業費	800 (千円)		全体事業費	800 (千円)	
事業概要					
○事業の概要 基幹事業で整備した本宮市子ども屋外プールにおいて、水泳指導員（オリンピックメダリスト等）による水泳教室を、プール利用可能期間中に 2 回実施する。					
○定住緊急支援事業計画とまちづくり計画等との整合性（制度要綱第 5 の 4 の一） 本市は、平成 21 年策定の本宮市第 1 次総合計画におけるまちづくりの基本目標として「豊かな心と創造性あふれる人材育成のまちづくり」を掲げ、その基幹施策として「生涯スポーツの推進」と位置付け、市民が身近な地域において安全に安心してスポーツ・レクリエーション活動を行えるよう体育施設の整備充実に取り組んできた。 また、基本目標「共に支え合うやさしいまちづくり」においても、子ども同士のふれあいの機会が減少し、子どもの健やかな成長が懸念されている背景を鑑み、子育てしやすい環境の整備を目指している。					
「本宮市第 1 次総合計画」 ・豊かな心と創造性あふれる人材育成のまちづくり 生涯スポーツの推進 スポーツ・レクリエーション施設の整備と活用 ・共に支えあうやさしいまちづくり 子育て支援の充実 子育てしやすい環境の整備					
「本宮市震災・原子力災害復興計画【第 3 版】」 ・健康対策 市民の心身ケア（ストレス対策）の推進 屋内・屋外遊び場づくり					
「本宮市教育振興基本計画 2014~2018（案）」 ・未来を創造し、生きがいにつながる生涯学習への支援 健康で活力ある人生につながる生涯スポーツの推進 競技力の向上と各種大会の充実 地域スポーツ活動の推進					
人口の流出及びそれにより生じている地域の復興における支障との関係					
○原子力発電所の事故以前と比較した人口の流出の状況及びそれにより生じている地域の復興における支障（制度要綱第 5 の 1） ・本市の人口推移については、全国的に少子高齢化が進み人口減少に転じている地域が多いなか、15 才未満の人口割合は比較的安定した状態で推移していた。 ・しかし、2011 年 3 月に発生した、東京電力福島第一原子力発電所事故を境に、放射能の健康への影響を心配する子育て世帯を中心に、多くの市民が市外に避難する状態が続いている。					

- ・原発事故発生前の平成 23 年 3 月 1 日と、発生してから約 2 年間経過した平成 25 年 3 月 1 日の人口を比べてみると、65 才以上の老年人口は 202 人増加しているものの、15 才未満の年少人口が 315 人、15～64 才の生産年齢人口が 556 人減少しており、全体では 669 人減少している状況である。
- ・特に、社会的要因による人口減少は、平成 22 年度時点においてはほぼ生じていなかったにもかかわらず、原発事故発生後の平成 23 年度では 415 人、平成 24 年度においても 124 人が社会的要因により減少しており、原発事故による影響が大きな要因となっていることが推察される。
- ・さらに、全国避難者情報システムによると、平成 24 年 10 月時点の避難世帯数は 46 世帯、避難者数 124 人となっており、そのうち、概ね半数が 15 才未満の年少者となっている。【国勢調査(H22.10.1)31,489 人】
- ・もし、この状況が続いた場合、将来的な労働力人口の減少等により、地域経済にも大きな影響を与えることとなる。※経済センサスによると、製造業において、平成 22 年に従業者数が 5,573 人、製造品出荷額等 26,067,849 万円だったものが、平成 23 年では、それぞれ 5,418 人、14,762,969 万円にまで落ち込んでいる。
- ・本宮市が平成 24 年 8 月に行った市民アンケート調査(20 才以上の市民 2,000 人:回答数 842 人、回答率 42.1%)では、今後重要と考える取組みとして、「遊び場(運動施設)の整備」が「福祉施設の充実」に次いで、2 番目に高くなっており、本事業を実施することにより、市民の安心度及び満足度を高め、定住を促進することができる。

【子どもの運動機会の確保のための事業】

○事業実施の必要性（制度要綱第 5 の 1）

子どもの運動機会の拡充を図るにあたって、本市は「泳ぐ機会」に着目し、「泳ぐ機会」の確保による子どもの体力向上、肥満防止等の健康増進に寄与し、子どもが屋外で楽しく活動でき、交流が図れる水泳は、精神衛生面においても効果的取組みのひとつと考えている。

しかし、本市には屋外プールが整備されていない地域(学区)が 1 地区存在しており、この本宮まゆみ小学区の児童は学校におけるプール授業や夏季休業中のプール利用は、近隣の市民プール(屋内)を活用している事情があり、未就学児においても屋外にてプール遊びを行える機会が存在していない状況であることを鑑み、この本宮まゆみ小学区内に児童用屋外プールを設置する必要がある。

○震災前に比較して子どもの運動機会の確保が十分に図られていないこと（制度要綱第 5 の 4 の二①）

- ・上記の整備を行う本宮まゆみ小学区内児童における原発事故後の運動能力の低下、肥満傾向の分析を行った結果、共に低下傾向の結果となった。
- ・高学年については、屋体利用による体力づくりに取り組んだ成果が反映し、大きな体力の差異は生まれなかったが、中低学年(特に女子)の体力低下が顕著な状況となっている。6 年生以外は全ての学年で肥満傾向児が増加している。
- ・また、本市児童の運動能力を全国平均と比較しても、学年や性別を問わず全体的に能力の低下が顕著となり、子どもの運動機会の確保が十分図られていない現状の裏付けとなって現れている。

○地方公共団体における既存の運動施設が不足していること（制度要綱第 5 の 4 の二①）

【該当なし】

○既存の施設を更新又は改築することによらなければ運動機会の確保を十分に図ることができないこと（制度要綱第 5 の 4 の二①）

【該当なし】

○施設等の整備の内容及び方法が事業の目的に照らして適切であり、効率的なものとなっていること（制度要綱第 5 の 4 の二①）

【該当なし】

○地方公共団体の広域の住民による活用が図られるよう計画されていること（制度要綱第 5 の 4 の二②）

【該当なし】

○整備を予定している施設における運動の効果を一層向上させるためのソフト的な取組（制度要綱第5の4の二③）

- ・本事業の内容をホームページ、市広報誌等により周知し、参加者を募る。

○その他

＜効果の検証方法＞

- ・本宮まゆみ小学校在籍児童の水泳記録を蓄積し、体力や健康状態等の変化を見ながら、効果ある事業展開を模索していく。
- ・水泳大会の記録を分析し、学校（地域）毎の特性を見極めながら、地域格差の解消と本市全体の体力向上を目的とした指導主事等によるアドバイスを実施する。
- ・利用者アンケート（児童、未就学児については保護者を対象）を実施し、本事業の効果を検証する。

※効果促進事業である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業

事業番号	B-1-2
事業名	本宮市子ども屋外プール整備事業
交付団体	本宮市

基幹事業との関連性

子どもたちが泳げる場所を整備するだけでなく、子どもたちが泳ぐことに関してのきっかけとなるような水泳教室を開催することで、子どもたちの運動不足と子ども同士の交流を図りやすい環境をつくり、施設の更なる利用を促進する。

(様式1-4)

本宮市

定住緊急支援事業計画

平成27年度

省庁名:

文部科学省

平成27年4月時点

※本様式は同一の交付担当大臣が交付する事業等ごとに作成して下さい

(単位:千円)

No.	事業番号 (注1)	事業名 (注2)	地区名 施設名	交付 団体	事業 実施 主体	国費率 (a)	当該年度		備 考
							交付対象事業費 (b) (注3)	うち交付金交付額 (c)=a×b	
1	◆ B - 1 - 2 - 1	本宮市子ども屋外プール効果促進事業	本宮まゆみ小学区 本宮市子ども屋外プー ル	市	本宮市	1/2	(0) 800 <800>	(0) 400 <400>	
							(0) <0>	(0) <0>	
							<0>	0 <0>	
							<0>	0 <0>	
							<0>	0 <0>	
							<0>	0 <0>	
							<0>	0 <0>	
						合計額	(0) 800 <0>	(0) 400 <0>	

都道府県名	福島県	担当部局名	政策推進課	担当者氏名	新保 雅樹
市町村名	本宮市	電話番号	0243-24-5321	メールアドレス	shigo-masaki@city.motomiya.lg.jp

(注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(制度要綱別表の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」、効果促進事業等については、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号)-(最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。

(注2)「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。

(注3)上段()書きは、前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段< >書きについては、自動計算される。